#### (19日本国特許庁(JP)

### ⑪特許出願公開

# ⑩公開特許公報(A)

昭54-148548

DInt. Cl.2

G 02 F

G 09 F

識別記号 邸日本分類

104 G 0 101 E 9 庁内整理番号 ⑩公開 昭和54年(1979)11月20日

7348-2H

7129—5C

発明の数 3 審査請求 未請求

(全 3 頁)

60液晶表示パネル

1/13

9/00

②特

願 昭53-52945

②出

願 昭53(1978)5月2日

**⑫発 明 者** 

者 井川淑 諏訪市大和3丁目3番5号 株

式会社諏訪精工舎内

⑩発 明 者 篠原正人

諏訪市大和3丁目3番5号 株

式会社諏訪精工舎内

⑪出 願 人 株式会社諏訪精工舎

東京都中央区銀座4丁目3番4

号

個代 理 人 弁理士 最上務

明 細 書

発明の名称

液晶表示パネル

特許請求の範囲

1. 結晶質の高分子物質を基板とする液晶表示パネルにおいて、該基板の方向性をパネル外観向上 に利用することを特徴とする液晶表示パネル。

2. 該基板に直線偏光が入った場合、最も旋光性 の少ない方向を、該液晶表示パネルの偏光板偏光 軸方向、又は配向方向、又は、偏光軸及び配向方 向の両者と一致させるか、又は、直角とさせると とを特徴とする液晶表示パネル。

3. 該基板に対して斜め方向から入射した光の透過率が最も大きい該入射光の、該基板上への投影方向が、液晶表示パネルの最も使用頻度の高い方向と平行であることを特徴とする液晶表示パネル

発明の詳細な説明

本発明は、結晶質の高分子物質を液晶表示パネルの基板として使用する際の、該基板の方向性に 関するものである。

本発明の目的は、結晶質の高分子物質を基板と する液晶表示パネルの外観を向上させる事である

それに対して、本発明は、該板を液晶表示パネルの基板として使用し、しかも優れた外観特性を 得る方法を示している。まず、旋光性の方向性に 関しては、該板に直線偏光が入った場合に最も旋光が入った場合に最もない、入ったがに使用する偏光をある。次に動きないがある。次に対したがある。次に対したがある。次に対したががある。次に対したががある。次がである。次がである。次がである。次がである。次がである。次ができる。というないが、ないの方向性に関する事ができる。は最も優れた外観特性を得る事ができる。にはないないにはないである。は最も優れた外観特性を得る事ができる。には最も優れた外観特性を得る事ができる。

以下、図によって本発明を説明していく。

(3)

の場合にも本発明は適用できる。

#### 図面の簡単な説明

第1図は、ポリエステル板の方向性を示す図であり、第2図は、その方向性をうまく液晶表示パネルに利用した本発明の実施例である。

A A′, B B′ …… 二軸延伸の方向

СС′……二軸延伸の結果ポリエステル板に発

生した方向性

1 ………上パネル 基 板

2 ………下パネル基板

3 ……上偏光板

5 ………… 上パネル配向方向

6 ……下パネル配向方向

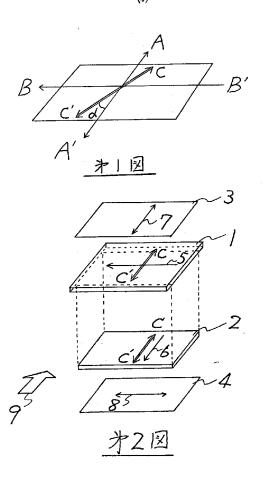
7 ………上偏光板偏光方向

8 …… 下偏光板偏光方向

9 …………パネルの使用頻度の高い方向

上述の例は、ポリエステルについて述べたが、 他の、結晶質の高分子物質についても本発明は有 効である。

更に、上述の例は、二枚の偏光板を有する液晶表示パネルについて述べたが、偏光板が一枚以下



#### 手 続 補 正 書 (自発)

<sup>月</sup>22 年 昭 和 6

長 特許庁<del>審査</del>官





1. 事件の表示

特許願 第 52945 号 昭和53年

2. 発明の名称

液晶表示パネル

3. 補正をする者

事件との関係 出願人 東京都中央区銀歴4丁目3番4号 (236) 株式会社 諏 訪 精 工 舎 代表取締役 中 村 恒 也

4. 代 理

> 東京都渋谷区神宮前2丁目6番8号 (4664) 并理士 最

連絡先 563-2111 内線 223~6 担当 長谷川

拒絶理由通知の日付

**柚子により増加する発展の数** 

5. 補正の対象

4.8 補正の内容

別紙の通り



正書

明細書第2頁下から8行目

「斜め方向から入射した光の透過率が、」と

「斜め方向から入射した直線偏光の海過率が」 に訂正する。

明細書第3頁5行目

「次に斜めから入射した光の方向」とあるを 「次に斜めから入射した直線偏光の方向」に 訂正する。

3. 明細書第 4 頁 1 2 行目

「配向処理方向及びパネル方向」とあるを 「配向処理方向及びパネル表示方向」に訂正 する。

上

代理人



**PAT-NO:** JP354148548A

**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 54148548 A

TITLE: LIQUID CRYSTAL DISPLAY PANEL

**PUBN-DATE:** November 20, 1979

## **INVENTOR-INFORMATION:**

NAME COUNTRY

IGAWA, KIYOSHI

SHINOHARA, MASATO

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

SEIKO EPSON CORP N/A

**APPL-NO:** JP53052945

**APPL-DATE:** May 2, 1978

INT-CL (IPC): G02F001/13, G09F009/00

US-CL-CURRENT: 349/96, 349/132, 349/FOR.114, 349/FOR.123

## ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the appearance of a liquid crystal display panel which uses high molecular material of crystalline substance as substrates by specifying the directivity of the substrates.

CONSTITUTION: The result of biaxial orientation produces the projection orientation CC' of the incident light which has least rotatory polarization to linear polarization and is highest in transmittance of diagonal

incident light, in polyester. The upper panel substrate 1 and lower panel substrate 2 which have undergone orientation treatment respectively in the direction 5 rectangular to the direction CC' and in the direction 6 parallel to the direction CC' so constitute the liquid cell that the directions 5, 6 intersect perpendicularly. An upper polarizing plate 3 which has the polarization direction 7 parallel to the direction CC' is provided on the substrate 1 and a lower polarizing plate 4 which has the polarization direction 8 rectangular to the direction CC' is provided under substrate 2. The direction where the use frequencies of this liquid crystal display panel are highest is the arrow 9 which is parallel to the direction CC'. Thereby, the liquid crystal display panel of high transmittances concerning the portions of the panel where no electric field is applied may be obtained.

COPYRIGHT: (C)1979,JPO&Japio